

なすしおぼら ボランティアセンター情報誌

令和8年9月20日号

笑顔で「グッド！」親子で学ぶ盲導犬教室



7月26日（日）、いきいきふれあいセンターにて「夏休み！親子ボランティア体験教室（盲導犬体験教室）」を開催しました。当日は、東日本盲導犬協会から講師を招き、市内の小学4～6年生とその保護者が参加しました。毎年定員を超える応募がある、大変人気の高い講座です。

参加した子どもたちは、盲導犬との歩行を全員が体験しました。はじめは緊張していた様子の子もたちも、歩き終わった後には「グッド！」と笑顔で盲導犬を褒める姿がとても印象的でした。

また、講座を通じて視覚障害への学びも深めることができました。参加者からは「街中で盲導犬や視覚障害のある方を見かけた際の意識が確実に変わった」といった、心強い感想がありました。

令和8年度ボランティアサマースクール

高校生プログラム「高齢者への理解」 ～認知症を知り『心を聴く力』を育てよう！～

7月31日（金）健康長寿センターにて、高校生を対象とした「ボランティアサマースクール」を開催し、10名が高齢者への理解を深めました。

午前の部は「那須塩原市キャラバン・メイト」の皆さんを迎え、「認知症サポーター養成講座」を実施しました。地域包括支援センターの仕組みや役割、認知症への理解を深めるとともに、認知症の方への具体的な対応について、良い例・悪い例を交えた寸劇による解説もあり、とても分かりやすく学ぶことができました。



午後の部は「傾聴ボランティアグループひまわり」の皆さんを講師に迎え、「傾聴講座」を開催しました。「聞く」と「聴く」の違いをはじめ、話を聴くためのトレーニングやロールプレイを通して、さまざまな場面での対応方法を実践的に、楽しく学びました。また、価値観を知るワークでは、自分と他者の価値観の違いを体験し、相手の話を否定せずに聴くために、何が必要かを学びました。



8月4日（火）、1日目の講座に参加した生徒のうち4名が、ボランティア体験として認知症カフェ「オレンジドアにしなす」の活動に参加しました。生徒たちは初日に学んだことを活かし、生き生きとした笑顔で活動に取り組んでいました。活動終了後の振り返りでは、講師の方々と実際の活動で感じたことなどを語り合い、実りのある時間となりました。



中学生プログラム「聴覚障害者への理解」 ～多様なことばを知り『伝える力』を育てよう！～

8月7日（金）いきいきふれあいセンターにて、中学生を対象とした「ボランティアサマースクール」を開催し、14名が聴覚障害者への理解を深めました。

午前の部は「全国要約筆記問題研究会栃木支部」の皆さんを講師に迎え、「要約筆記講座～聞こえのサポーターになろう～」を実施しました。要約筆記の基礎を学び、実習を中心とした内容で楽しく体験しました。



午後の部は「手話サークル弥生会」の皆さんとろう者の方々と交え、「手話体験～ろう者と遊ぼう～」を実施し、ゲームを通して「聞こえないこと」への理解を深めました。初めは戸惑う様子も見られましたが、休憩時間には中学生とろう者の方が一緒に遊ぶなど、心温まる交流の場となりました。



《受講者の感想》



【認知症サポーター養成講座】

- ・「認知症が身近なものだと知った。どう接すれば良いかを忘れずにいたい」
- ・「知らないことをたくさん知ることができた。今後活かしたい」

【傾聴講座】

- ・「会話をする上で大切なことがわかった。工夫次第で会話がとても楽しくなることに気づけた」
- ・「聴き手の態度が話す側にも影響すると感じた。相手に寄り添っていきたい」

【オレンジドアにします】

- ・「笑顔で話すと笑顔で返ってきて嬉しかった」

【要約筆記講座】

- ・「話す内容を瞬時に要約したり、漢語表現に直したりする難しさを知った。とても良い経験になった」
- ・「難しいところもあったが、いろいろなことがわかったので、何かの時はやってみようと思った」

【手話体験】

- ・「お互いに相手とつながろうという気持ちが深まった」
- ・「実際にろう者の方と手話で会話したことで、伝わった時の喜びを感じられた」
- ・「自分にできる方法で聴覚障害のある方の手助けをしたい」

受講した中高校生の皆さんには、ここで得た気づきや学びを、ぜひこれからの生活に活かしてもらいたいと思います。



司ボランティア

～寄付150回を迎える～



高齢者施設などで歌謡ショーを行っている「司ボランティア」代表の薄井静雄さんは、様々な施設にパンを寄付する活動も行っています。困っている人や社会的ハンディキャップがある人に、笑顔になってもらいたいという思いで続けているそうです。

7月17日（金）には多機能型事業所「心の里」へパンを届けました。令和6年2月から始めた寄付活動も、この日で150回を迎えました。



▲きらむぎのパンを届けています



▲寄付先からのお礼の手紙

薄井さんは、「施設のスタッフや子どもたちからのお礼の手紙や絵、感謝の声が励みになっている」と話され、次は300回を目標に続けていきたいと意気込んでいました。また、パン・アキモトの理解と協力があってこの活動が続けられているとのことで、施設のスタッフや子どもたちからの手紙や絵をパン・アキモトにも届けているとのことです。

心の里の飯田施設長は、「買い物に行く機会が少ない利用者の楽しみになっている。また、パンを届けてくれることで地域の方が施設を見守ってくれているという安心感がある」と話していました。

150回という節目を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。

薄井さんのボランティア活動だけでなく、寄付活動がこれほど長く継続されていることに深く感銘を受けました。誰かの役に立ちたいという純粋な想いが、多くの施設や人々の支えになっているのだと感じました。これからも皆さんに温かい笑顔と元気を届けていただきたいと思います。

【ボランティアコーディネーター】



黒磯郷土館解説ボランティアいろいろの会



～おもちゃ作りで子どもたちと交流～



社会科見学で来館した児童へ、体験活動の支援及び案内解説を行う「黒磯郷土館解説ボランティアいろいろの会」が7月26日（日）、夏休み特別企画としておもちゃ作りを開催しました。訪れた子どもたちは「紙コップのこま」と、ゆらゆら揺れる「ちょうちょう」の工作をいろいろの会の皆さんと交流しながら楽しみました。

また、工作だけでなく、郷土館の建物として使われている旧津久井家住宅の説明も行われ、参加した子どもたちにとって、昔の人の生活を知ることができる貴重な機会となりました。

地域のつながりを考える～車いす体験と福祉講話～



8月26日（水）、狩野公民館にて「シニア倶楽部しののめ^{※1}」と「かりのかたりば^{※2}」の皆さんを対象に、車いす体験と福祉講話を実施しました。前半の車いす体験では「サポートみらい」が講師を務め、参加者は館内のスロープや段差などを実際に車いすで移動しました。皆さん、楽しみながらも熱心に操作方法や介助のコツを学んでいました。後半は、那須塩原市社会福祉協議会の職員による福祉講話「福祉ってなあに？」を行いました。社協の役割や地域福祉、災害支援の視点から「地域のつながりの再構築」について話し、日頃からの“顔の見える関係づくり”や“つながり”の大切さを参加者へ伝えました。



※1 狩野公民館が主催する、地域高齢者向けの高齢者学級（公民館講座）

※2 狩野公民館で月に1回実施されている、地域住民が集まって気軽に語り合う交流の場



「四季の会」が体験型防災教室を開催！ ～地域の絆で防災を学ぶ～



7月27日（月）、常根学園の体育館にて、栃木県家庭教育オピニオンリーダー「四季の会」主催の防災教室が開催されました。当日は地元の児童クラブの児童や一般の子どもたちが集まり、多彩な体験プログラムに挑戦しました。

参加した子どもたちは、防災〇×クイズをはじめ、段ボールベッドの組み立てや新聞紙スリッパ作り、車いす体験、災害用伝言板の利用、ドローン見学など、実践的なメニューを通して防災への理解を深めました。また、体育館の外では地域の「おしゃれサロン」のメンバーが涼しげなかき氷を振る舞い、世代を超えた交流が生まれていました。

運営サポートには、中学生ボランティアやボランティアセンター登録の個人ボランティアも参加し、世代を超えた協力体制が光る一日となりました。

「四季の会」代表の人見さんは、「今年初めての試みでしたが、来年以降もぜひ継続して開催していきたい」と今後の意気込みを語ってくれました。

災害ボランティアセンター運営サポーター研修開催



9月6日（日）いきいきふれあいセンターにて、那須塩原市社会福祉協議会主催の「令和8年度災害ボランティアセンター運営サポーター研修」の1日目が開催されました。

輪島復興支援団体リガーレ代表の^{つちやまさや}榎谷雅也氏を講師に迎え、能登半島地震・豪雨災害でご自身も被災されながらも、災害ボランティアセンターの運営に従事した経験を基にお話いただきました。ボランティアの受け入れから、地域住民との繋がり、被災地の現状と今後の支援のあり方について詳しくお話いただき、多くの学びを得る機会となりました。

研修2日目は、11月14日（土）に健康長寿センターで災害ボランティアセンターの立ち上げ運営訓練を行う予定です。



お知らせ

第2回ボランティア交流会のお知らせ

～ディスコン体験会～

【開催日】令和8年10月22日（木）10時00分～12時00分

受付 9時45分～

【会場】いきいきふれあいセンター 3階多目的ホール（那須塩原市桜町1-5）

【講師】那須塩原市レクリエーション協会

【対象】ボランティアセンター登録者・登録団体及びボランティアに興味のある方

【参加費】無料

【定員】30名程度

【申込方法】電話または申込フォームよりお申し込みください。

申込フォーム

【申込期限】令和8年10月5日（月）まで

※定員になり次第締め切らせていただきます。

【問合せ・申込み】那須塩原市社会福祉協議会 ボランティアセンター



※動きやすい服装と運動靴での参加をお願いいたします。

ディスコンとは

赤と青の2チームに分かれて円盤を投げ、どちらが黄色のポイントに近づいているかを競う簡単なスポーツです。

初めての方でも楽しむことができます。



東原秋祭り in サ高住あじさい イベントボランティア募集

【活動日時】令和8年10月4日（日）9時00分～16時00分

【活動場所】サービス付き高齢者向け住宅あじさい敷地内、鳥野目小学校跡空き地

【集合】8時50分 デイサービスより ※サービス付き高齢者向け住宅あじさい併設（那須塩原市東原163-29）

【活動内容】駐車場係（施設裏の空き地、鳥野目小学校跡空き地での車の誘導・安全確認等）
物品販売係（施設敷地内でバザーなどの販売補助、会場案内）

【人数】駐車場係4名、物品販売4名

【その他】昼食は必要に応じてご用意ください。（キッチンカーが出店予定です）

控室はイベント参加者と同じになる為、貴重品は身に付けて活動ください。

【お願い】活動前にボランティアセンターへ登録をしていただきます。

【申込締切】令和8年9月28日（月）まで ※定員になり次第締め切らせていただきます。

【申込先】那須塩原市社会福祉協議会 ボランティアセンター 担当：大森



アジア学院収穫感謝の日 駐車場整理ボランティア募集！

【活動日時】 令和8年10月17日（土）・18日（日）9時00分～15時00分 ※雨天決行

【活動場所】 アジア学院内及び槻沢小学校

【集 合】 9時00分 アジア学院事務所（那須塩原市槻沢442-1）

【活動内容】 駐車場整理ボランティア

【人 数】 各日5名程度

【持 ち 物】 飲み物（水分補給用）、その他必要に応じてご用意ください。

※雨天決行ですので、雨具をご用意ください。

【そ の 他】 お昼の食事券が配布されます。

【お 願 い】 活動前にボランティアセンターへ登録をしていただきます。

【申込締切】 令和8年9月30日（水）まで ※定員になり次第締め切らせていただきます。

【申 込 先】 那須塩原市社会福祉協議会 ボランティアセンター 担当：植野



ボランティア活動実績

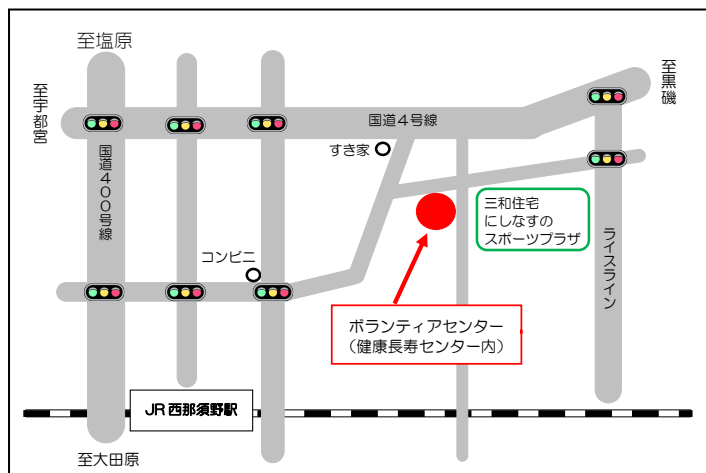
7月	イベント他	13件	66人	8月	イベント他	7件	29人
	傾聴	19件	30人		傾聴	18件	29人
	福祉体験	3件	5人		福祉体験	1件	5人
	合計	35件	101人		合計	26件	63人

ボランティアセンター登録数（8月31日現在）

団体	個人
108団体（非公開含む）	85人



【ボランティアセンター】



地域共生社会振興基金寄付者一覧

（令和8年8月31日現在）（敬称略）

- ・株式会社 Shikano
- ・黒磯ロータリークラブ
- ・NPO 法人すずらん
- ・那須塩原市一般廃棄物処理協同組合

地域共生社会振興基金とは、地域共生社会の実現のため、
那須塩原市社会福祉協議会が設置している基金です。

発行：社会福祉法人那須塩原市社会福祉協議会
ボランティアセンター

〒329-2705 那須塩原市南郷屋5-163
（健康長寿センター内）

TEL 0287-47-6700 / FAX 0287-47-6690

Eメールアドレス v.center@ns-shakyou.jp

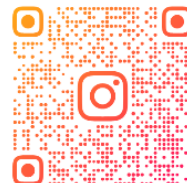
★メール、FAX、電話でみなさまの感想や
情報をお寄せください。



▲ボランティア
センター公式 LINE



▲那須塩原市社協
フェイスブック



▲那須塩原市社協
インスタグラム